

月刊



平成23年11月1日発行 通巻190号
 昭和40年8月21日第3種郵便物認可
 発行/社団法人 滋賀県建築士会
 〒520-0801
 滋賀県大津市におの浜1-1-18 建設会館 3F
 TEL077-522-1615 / FAX077-523-1602

社団法人 滋賀県建築士会

URL : <http://www.kentikushikai.jp/> mail : shiga-sa@mx.bw.dream.jp

湖国が滋る・水と緑の街づくり

CONTENTS

- ・2011年～2012年今後の
CPD認定プログラム情報 … 2
- ・東日本大震災支援事業推進
のための先遣隊派遣
- ・女性部会
20周年記念事業報告 …… 3
- ・河島常務 知事賞 報告 … 5
- ・新入会員のご紹介
- ・訃報 北居仙之助様
内堀 善也様 ご逝去
- ・平成23年度 第4期 一級・
二級・木造建築士定期講習
開催のお知らせ …… 6
- フォトコンテスト作品募集 … 7
- ・機関誌「家」2012年号
『会員の声』原稿募集
- ・女性委員会 DoシリーズNo.59
参加募集のお知らせ …… 8
- ・第7回ゴルフコンペ開催の
お知らせ
- ・支部だより …… 9
湖東支部・湖北支部・
湖西滋賀支部
- ・11月の暦
- ・「あきんど号ラリー参戦記」
〈第11回〉 …… 10
- ・おうみ賢人 (新町通り)



おうみ賢人
(第3回)

西川甚五郎 邸(近江八幡)

「近江八幡の御三家」といわれる名門商家で日本の寝具メーカーの最大手である「西川」の創業は1566年。当初は一商人の行商によってスタートしたが、江戸・日本橋に出店後も次々と長期にわたって支店を増やし、中でも「蚊帳卸商」として「生産」「流通」「販売」網を繰り広げ、今でいう「マーケティング」を形成した。今ではセリーヌ・バーバリー・ウェッジウッド・イヴ・サン＝ローランなどのブランドのほか、アンパンマン・ポケットモンスター・ハローキティなどのキャラクター商品も扱っているところなどは時代に最良、最善を求めてきた商人の姿が現れている。

2011年～2012年今後のCPD認定プログラム情報

講習・講座等内容の詳細につきましては、プロバイダーにお問い合わせください。

地域	日時	認定プログラム名	プロバイダー名	会場	単位
滋賀県	2011年11月26日	古民家鑑定士認定講習	一般社団法人200年住宅再生ネットワーク機構	調整中	3
滋賀県	2011年12月1日～2日	職長・安全衛生責任者教育	建設業労働災害防止協会滋賀県支部	滋賀県建設会館	14
滋賀県	2012年1月9日	平成23年度「日本伝統建築技能研修(後期)」講座	日本伝統建築技術保存会	西日本会場	8
滋賀県	2012年1月10日	平成23年度「日本伝統建築技能研修(後期)」講座	日本伝統建築技術保存会	西日本会場	6
京都府	2011年11月12日	室内の光環境設計実践技術(1回目/2回通しのうち)	京都職業能力開発短期大学校	京都職業能力開発短期大学校	6
京都府	2011年11月16日	古民家鑑定士認定講習	一般社団法人200年住宅再生ネットワーク機構	京都産業会館第一会議室	3
京都府	2011年11月19日	室内の光環境設計実践技術(2回目/2回通しのうち)	京都職業能力開発短期大学校	京都職業能力開発短期大学校	6
大阪府	2011年11月10日	平成23年度マンション維持修繕技術専門課程研修	社団法人 高層住宅管理業協会	綿業会館	8
大阪府	2011年11月10日	RC造編-基礎IIコース<耐震設計の考え方、RC造建物の構造計算演習>【第1日目】	一般財団法人日本建築センター	大阪府建築健保会館	6
大阪府	2011年11月11日	平成23年度マンション維持修繕技術専門課程研修	社団法人 高層住宅管理業協会	綿業会館	8
大阪府	2011年11月11日	RC造編-基礎IIコース<耐震設計の考え方、RC造建物の構造計算演習>【第2日目】	一般財団法人日本建築センター	大阪府建築健保会館	6
大阪府	2011年11月14日	特殊建築物等調査資格者講習 大阪	財団法人 日本建築防災協会	大阪国際交流センター	6
大阪府	2011年11月15日	特殊建築物等調査資格者講習 大阪	財団法人 日本建築防災協会	大阪国際交流センター	6
大阪府	2011年11月16日	特殊建築物等調査資格者講習	財団法人 日本建築防災協会	大阪国際交流センター	7
大阪府	2011年11月17日	特殊建築物等調査資格者講習 大阪	財団法人 日本建築防災協会	大阪国際交流センター	4
大阪府	2011年11月25日	基礎から学べる構造設計シリーズS造編-基礎Iコース-【第1日目】	一般財団法人日本建築センター	大阪府建築健保会館	6
大阪府	2011年11月26日	基礎から学べる構造設計シリーズS造編-基礎Iコース-【第2日目】	一般財団法人日本建築センター	大阪府建築健保会館	6
大阪府	2011年12月9日	基礎から学べる構造設計シリーズS造編-基礎IIコース-【第1日目】	一般財団法人日本建築センター	大阪府建築健保会館	6
大阪府	2011年12月9日	木のいえづくりセミナー	木構造振興株式会社	梅田センタービル	4
大阪府	2011年12月10日	基礎から学べる構造設計シリーズS造編-基礎IIコース-【第2日目】	財団法人日本建築センター	大阪府建築健保会館	6
大阪府	2011年12月10日	木のいえづくりセミナー	木構造振興株式会社	梅田センタービル	4
大阪府	2011年12月14日	木耐協 耐震技術認定者講習会	日本木造住宅耐震補強事業者協同組合	グランキューブ大阪	6
大阪府	2011年12月16日	平成23年度第3回建築技術講習会～知っておきたい実践のものづくり～	社団法人大阪府建築士会	エル・おおさか南館5階南ホール	5
大阪府	2012年1月10日	会員会勢委員会女性分科会 住・空間らぼ1月例会	社団法人大阪府建築士会	社団法人大阪府建築士会 会議室	2
大阪府	2012年2月9日	会員会勢委員会女性分科会 シルバーライフ研究会2月例会「建築家による高齢者はどこに住む」	社団法人大阪府建築士会	社団法人大阪府建築士会 会議室	2
大阪府	2012年2月10日	2011年度VE等施工改善事例発表会	社団法人日本建設業連合会	エル・おおさか	4
大阪府	2012年3月9日	会員会勢委員会女性分科会 シルバーライフ研究会及び住・空間らぼ 3月合同例会	社団法人大阪府建築士会	社団法人大阪府建築士会 会議室	2

東日本大震災支援事業推進のための先遣隊派遣

総務企画委員会委員長 杉江文雄

当委員会では4名の委員と山本会長の計5名にて先遣隊を結成。9月28日(水)から9月30日(金)までの2泊3日の行程にて宮城県内沿岸部の被災地を中心に視察をしてまいりました。

9月28日(水)には到着後仙台空港より福島県南相馬市の福島原発20km立入禁止区域まで走行。夜は仙台商工会議所青年部副会長松坂様、同専務理事片桐様との懇談会を開催。震災当日や震災後のお話を伺いました。

9月29日(木)早朝より被災地視察に宮城県建築士会理事阿部様にご同行頂き気仙沼市から南三陸町までの被災地を訪問。土台だけが残った住宅跡、津波の高さを確認できた5階建ての市民病院、地震により約75cm地面が沈下した漁街、破壊され防波堤跡等、津波の圧倒的なエネルギーや甚大な被害には言葉が見当たりませんでした。

その後各種プロジェクト復興の方舟(滋賀県立大 陶器研究室) 番屋プロジェクト(県立宮城大学竹内研究室) 復興住宅現場(工学院大学建築学部)を見学しました。

9月30日(金)最終日は松島町、塩竈市に向かいました。平日ではありましたが観光客の方も少しは戻って来られたとの事。今後たくさんの方々が観光地を訪れることをお祈りしてきました。

尚、今後総務企画委員会では復興支援事業を検討して決定次第、会員の皆様にご報告したいと思います。まずは先遣隊派遣の報告とします。



❖❖❖ 見学研修旅行 ❖❖❖

去る、10月15日土曜日から16日にかけて1泊2日で瀬戸内海の3島の見学研修旅行に行ってきました。今回は女性部会（現女性委員会）の発足20周年の式典も現地で行うという欲張りな日程でした。

参加者は、会員26名、会員外9名、計35名。週間予報では雨マークが外れることがなかった週末でしたが、そこはパワーを持っている女性委員会の力で雨を吹き飛ばし、島巡りも傘のお世話にならずにすみました。JR米原駅に5時50分集合という早い時間の集合にもかかわらず、時間どおりにJR大津駅を経由し岡山宝伝港に向けて出発し、犬島へと向かいました。

1日目の犬島では、3班に分かれ、妹島和世さんが手がけられた「家プロジェクト」と三分一博志が設計した「精錬所」を見学。人口50人の小さな集落に点在している、「家プロジェクト」は、島の風景を変容・活性化させる3つのギャラリーと「中の谷東屋」からなり、犬島の歴史的背景を舞台に展開された「精錬所」に対し、日常の中にアート空間が優しく滑り込み、集落を新たな風景へと生まれ変わらせていました。「精錬所」は、犬島に残る銅精錬所の遺構を保存・再生した美術館で、「在るものを活かし、無いものを創る」というコンセプトのもと作られました。既存の煙突やカラミ煉瓦、太陽や地熱などの自然エネルギーを利用した環境に負荷を与えない建物となっています。見学後、チャーター船で小豆島にわたり、20周年式典、交流会と日程を消化いたしました。

2日目は再びチャーター船でお待ちかねの直島で、安藤忠雄作の「地中美術館」と古い民家をアートスペースに変える「家プロジェクト」を見学。建物のほとんどが地中に埋められた美術館として有名な地中美術館は、その名のとおり、地下空間にアートを内包しています。クロード・モネ、ウォルター・デ・マリア、ジェームズ・タレルの3名の作品を収めた美術館で、個々の作品ごとに、作品を体感する建築空間を構成しており、作品と建築・展示空間が一体となっていました。絵画としての美術作品はモネの5点だけで、マリアの作品は階段状の神殿のような大空間を構成し、その中に直径2m以上の花崗岩の球体と、金箔を施した27体のマホガニー材の立体を配置している空間です。入る人数も限定され、一定以上の人を入れることもありませんし、順路もなく、靴を脱いでスリッパに履き替えたりと、概念として持っている美術館とは異なりました。直島の「家プロジェクト」は古い家屋を建築家やアーティストがその場所の記憶を残す場所として再生していました。

2日で欲張ってすべてを堪能いたしました。どの場所も印象に残る旅行となりました。またチャンスをつくり地中美術館には行ってみたいと思います。おそらく個人で行くのであれば、今回の見学先を2日間で見ることにはかなわないと思います。それだけ欲張って、練りに練った行程であったと自負しております。今回ご一緒出来なかった会員の皆様、是非、次回のご一緒出来ることを心より願っております。そして、今回ご参加された皆様、ご不便、ご不満な点もあったと思いますが皆様のご協力により、無事20周年事業が行われましたこと、紙面をもちましてお礼申し上げます。ありがとうございました。



犬島／精錬所をバックに集合写真



犬島／「精錬所」見学



直島／草間彌生作「赤かぼちゃ」



直島／ベネッセハウス周辺屋外作品見学



直島／ボランティアガイドさんと「家プロジェクト」見学



直島 / 「家プロジェクト」南寺見学



直島 / 本村地区散策



歴代女性委員会委員長による
20年のあゆみの報告



歴代女性委員会委員長の皆さん



記念式典無事終了

❖❖❖ 20周年式典 ❖❖❖

10月15日(土)、“Sosite これからも”と題した、女性部周年記念式典が小豆島国際ホテルにて開催されました。

山本会長の開会のあいさつで始まりました式典は、平成2年に発足された女性部の歴史を歴代の部長が思い出を交えながら語るという形式で進められました。現在活躍されている役員の方でも発足当時のことを知る方は少なく、そのようなことがあったから今があるのね…と思わずほろりとしてしまうエピソードもお聞きすることができました。

平成元年、岐阜で女性連絡協議会設立準備会が開催され、その会議に出席された4人の女性が当時の滋賀県建築士会会長を巻き込み、滋賀県にも女性部が出来たこと、女性が差別を受けずに、家庭と仕事ができるようにと男女雇用均等法がその3年前に作られましたが 男性社会であった建築業界で、男女差別はすぐには改善されず、大変な船出であったであろうことは想像に難くありません。初代女性部部長の有村さん、2代目部長の吉田さん、3代目部長の諸川さん、4代目部長の前田さん、5代目部長の河島さん、6代目部長の伊東さん、7代目部長の田井中さん、8代目部長の中本さん。それぞれの事業内容にも部長の感性が活かされたものになっていました。

少しずつではありますが、仲間も増え順調に活動も続け…とはいかなかったみたいです。女性が仕事を続けていくには周りの理解が不可欠です。温かい理解を受け（無理やり理解をさせた？）細々でも建築に関係できたことは、私事ではありますが女性部の存在は大きいものがあったと思います。一生の内にはいろいろなことがあります。順風満帆に船は進みません…育児であったり、介護であったり、地域であったり、女性ならではの避けては通ることができない回り道が何本もあります。それでも、建築という1本の道を歩いてきたこと、そしてこれからもこの道を歩いていけることに喜びを感じます。初代部長の有村さんのお言葉に、「私事ですが、お許しください。」との前置きがあり、「建築士にしてくださったお父さん、お母さんありがとう」との一言がありました。本当に想いがこもった言葉であったと思います。1人の力でここまで歩いてこれたのではない、支え、応援してくれる人がいて、仲間がいてこの仕事を続けることが出来たのだと、改めて思いました。女性部も年。人間でいえば成人です。これからも今までの道を止めてしまうことなく、伸ばしていきます。どうぞ、皆様のご指導をよろしくお願いいたします。

年間の活動報告「年のあゆみ」

社団法人 滋賀県建築士会 女性委員会では、年間の活動報告を「年のあゆみ」として、冊子にまとめました。まずは自分でやってみよう～Doの思いからスタートしたDoシリーズ。Doシリーズとは、私たち女性委員会が主催する講習会で、会員、会員外、一般の方々を対象として開催してきました。回を重ねること58回、継続は力となり、これからも続く活動への糧となっています。

また、活動は滋賀から近畿へ、全国へと広がっていきました。近畿建築士会協議会女性部会、全国女性建築士連絡協議会には積極的に参加してきました。

そうして改めて思うことは、本会の支援、様々な方々との出会いに恵まれて年を迎えられたのだということです。そんな私たち女性建築士の活動の歴史と建築に対する研鑽の足跡をたどる記念誌となりました。



河島常務理事 知事表彰受賞 報告

このたび、平成23年度建設事業功労滋賀県知事表彰を本会常務理事河島明美氏が受賞されました。

河島氏は平成7年より本会理事を6期12年務められ、現在常務理事として本会発展のためご活躍をされておられます。氏はフジタ工業(株)大阪支店勤務の後、県内建設会社設計部勤務をへて平成6年に独立し、彦根市内に一級建築士事務所開設を開業、今日まで女性建築士の感性を生かし、県民の快適な生活・住宅環境づくりに多大な貢献をされると共に、今日まで女性建築士として各方面でご活躍される等、これまでの活動が認められ今回の知事表彰受賞となりました。



常務理事 河島明美 氏

河島氏は現在、滋賀県入札監視委員会委員、長浜市景観審議委員会委員及び長浜市旅館等建築規制審議会委員等の公職も歴任され、建築士会のみならず滋賀県の建築関係業界の発展にご尽力されておられます、今後ますますのご活躍を期待申し上げます。

新入会員のご紹介

支 部	氏 名	住 所
甲 賀	森 昌智	甲 賀 市
湖西滋賀	栗田 和幸	大 津 市

平成23年 8～10月理事会承認分

訃報

北居仙之助様・内堀 善也様
ご逝去

永年にわたり、滋賀県の建築設計界で御活躍されました(株)滋賀県建築設計家協会・元会長 北居仙之助様、滋賀県建築設計監理事業協同組合・元理事長 内堀 善也様の御二方が昨月相次いで御逝去されました。生前の御功績を称えるとともに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

平成23年度 第4期 一級・二級・木造建築士定期講習開催します!

平成20年11月28日に施行された新建築士法の規定により、建築士事務所に所属する一級・二級・木造建築士に対し、それぞれ定期講習を3年ごとに受講することが義務付けられています。経過措置として、平成24年3月31日までに最初の定期講習を受けなければいこととなっておりますが、今回が経過措置期間内最終開催となります。また、既に平成20年度に第1回目を受講された方が第2回目を受講されますので、定員に達してしまい受講できない可能性もございます。まだ1度も受講されていない所属建築士の方は、必ず受講をお願いいたします。

お申し込み
ください!!

◆講習日：草津会場：平成24年2月15日(水)

彦根会場：平成24年3月8日(木)

◆講習場所：草津会場：立命館大学 びわこ・くさつキャンパス

草津市野路東1-1-1

彦根会場：ひこね燦ばれす

彦根市小泉町648-3

◆定員：各会場とも200名 ※定員になり次第、締め切ります。

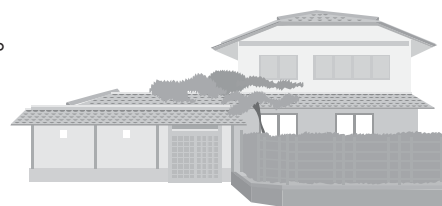
◆配布期間：随時

◆配布・申込時間：午前9時30分～午後4時30分

◆配布・申込場所：(社)滋賀県建築士会事務局

◆配布価格：無料(受講申込者1人に1部)

郵送での配布については、「定期講習受講申込書希望」と明記の上、送付先住所・氏名を記入したA4サイズの封筒に(1部希望の場合)140円切手を貼ったものを、(社)滋賀県建築士会へ郵送して下さい。または、(財)建築技術教育普及センターのホームページ《http://www.jaeic.or.jp/k_teiki-form_download.htm》からダウンロードもできます。



◆受講手数料：テキスト代を含む**15,750円**(内消費税750円)

◆講習の時間割《予定》

時間	項目	内容	容
9:00~9:30		受	付
9:30~9:35	受講説明	・講習概要の説明、注意事項の説明	
9:35~16:10	講義	・建築物の建築に関する法令に関する科目	
		・設計及び工事監理に関する科目	
16:35~17:35	一級建築士	・建築物の建築に関する法令に関する科目 ・設計及び工事監理に関する科目	40問、正誤方式
	二級建築士	・建築物の建築に関する法令に関する科目 ・建築物(法3条に規定する建築物を除く。)の設計及び工事監理に関する科目	35問、正誤方式
	木造建築士	・木造の建築物の建築に関する法令に関する科目 ・木造の建築物(法3条及び3条の2に規定する建築物を除く。)の設計及び工事監理に関する科目	30問、正誤方式

◆申込期間：平成23年11月28日(月)~12月22日(木)

◆申込方法 ●窓口での受付：(社)滋賀県建築士会までお越しください。代理の方でも構いません。

●郵送での受付：簡易書留郵便にて(社)滋賀県建築士会まで送付してください。後日、こちらから受講票を送付いたしますので、宛先を明記し、80円切手を貼付した返信用の封筒(長3：12cm×23.5cm)を同封しておいてください。申込締切日の消印のあるものまで有効です。料金別納・後納郵便については申込締切日までに到着したものに限りです。記載内容の不備・必要書類が揃っていないものは受付できません。

◆お問合せ：(社)滋賀県建築士会事務局 TEL.077-522-1615



フォトコンテスト作品募集

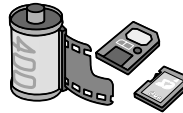
(社)滋賀県建築士会では、フォトコンテストを開催いたします。今年のテーマは1部「フリー」、2部「棲み家(すみか)」で募集いたします。

会員のみなさまの自慢の作品をお待ちしております。

作品のテーマ

1部 「フリー」(風景・建物などテーマは問いません)

2部 「棲み家(すみか)」



2011年 大賞「白壁と桜」

応募要項

応募資格 特に制限は致しません。但し、作品は自作に限ります。

応募作品 4つ切(カラー・モノクロ)、ワイドタイプ可
作品は未発表のものに限ります。また撮影時期、応募点数は問いません。(今回に限り、電子データによる応募も受け付けます。ただし、その場合は印刷等すべてお任せとなります。応募点数は1点のみです。)

表彰 *大賞賞金1万円 *入選賞金5千円

募集期間 平成23年10月~12月 **審査** イオンモール草津にて展示し、一般の人の投票によります。

発表 平成24年5月ごろに、機関誌「家」及び滋賀県建築士会ホームページにて発表
(<http://www.kentikushikai.jp/>)

応募方法 下記応募票に必要事項をご記入していただき、作品の裏面に糊付けの上、(社)滋賀県建築士会事務局までご持参いただくか、郵送にお送りください。(必要事項を記入したメールによる応募も受け付けます。)

送り先 〒520-0801 大津市におの浜1-1-18 建設会館3階
(社)滋賀県建築士会「フォトコン係」 TEL.077-522-1615

- 応募細則**
1. 入選作品の著作権は、主催者に帰属します。選外作品であっても使用することがあります。肖像権などについては、応募者の責任に於いて了解が得られているものとします。
 2. 応募作品は返却いたしません。ただし、返却希望者は郵便切手(500円分)を同封頂ければ返却いたします。
 3. 応募票に記載された個人情報は、当コンテスト以外には使用いたしません。
 4. 応募は会員・会員の家族とさせていただきます。

主催団体 社団法人滋賀県建築士会

滋賀県建築士会 2012年 フォトコンテスト応募票

作品名		テーマ	
コメント			
応募者氏名		撮影場所	
会員氏名		撮影年	年
住所	〒	連絡先	

機関誌「家」2012年号 『会員の声』原稿募集

機関誌「家」2012年号に掲載します『会員の声』の原稿を募集いたします。日常業務や社会のこと、趣味や家族など内容は問いません。写真・資料等を含む1600字程度で原稿をお寄せください。

詳しくは、(社)滋賀県建築士会事務局までお問い合わせください。



●日 時：平成23年11月26日(土)

13:30～16:00(現地集合・現地解散)

●集合場所：甲賀森林組合事務所 滋賀県甲賀市土山町北土山361 TEL.0748-66-0015

●見学場所：甲賀森林組合周辺 ●募集人数：25人

●会 費：会員/¥500- 会員外/¥1000-

●申込締切：平成23年11月19日(土)

●日 程：13:30 参加者現地集合 甲賀森林組合事務所
 13:40～14:30 水中乾燥の講義 講師：定成正憲教授
 14:30～15:00 池や休耕田を利用して水中に浸している現場見学
 15:00～15:30 移動
 15:30～16:00 水中乾燥材を使用している建築現場見学
 16:00 現地解散



DoシリーズNo.59 水中乾燥材にみる家づくり 11月26日(土)

会員/会員外	お名前	連絡先 TEL (当日連絡用)
会員・会員外		
会員・会員外		

お申し込みはFAXにて・・・(社)滋賀県建築士会 事務局<FAX.077-523-1602> (お問い合わせは... TEL.077-522-1615)

青年部会

第7回ゴルフコンペ開催のお知らせ

下記のとおり、今回で第7回目となりますゴルフコンペを開催いたします。日頃、出会う機会の少ない仲間と出会い、親睦と情報の交換ができればと企画しました。人脈を作る絶好の場です!ゴルフ好きの方!まだ初心者の方でもこの機会にぜひお集まりください!参加者の皆さんには気軽に大いに楽しんで頂きたいと思っております。特に青年層の方のご参加大歓迎です。みなさまお誘い合わせの上、ふるってご参加ください!お待ちしております。

- 日 時：平成23年12月9日(金) 雨天決行
- 場 所：甲賀カントリー倶楽部 湖南市三雲3354 Tel.0748-72-1221
- 費 用：未 定 ●募集人員：先着8組32名(定員になり次第締切)
- 参加申込：11月30日(水)までに下記申込欄にご記入の上、FAXかご郵送にてお送り下さい。
 ※参加者の方には、後日、詳細を送付いたします。



(社)滋賀県建築士会青年部会 第7回ゴルフコンペ申込用紙

参加者お名前		住 所	
生 年 月 日		所属支部	
参 考 H D		FAX番号	

※後日詳細をご案内いたしますのでFAX番号の記載漏れにご注意ください。

(社)滋賀県建築士会 事務局<FAX.077-523-1602 郵送の場合:大津市におの浜1-1-18>

湖東支部

日野まちなみ保全会(日野町)紹介

「日野まちなみ保全会」は、平成11年(1999年)に発足した「日野のまちなみと景観を考える会」から、今日のニーズにより合うよう平成28年(2008年)に名前を替えて再出発しました。



日野まちなみ保全会は、今日に残る歴史的なまちなみを次世代に残すため、建物を所有する町民に協力を訴えるとともに、住民意識の向上を目指すことにより、町内に点在する歴史的建造物を可能な限り保護、保存することを目的としています。

活動内容はセミナーや講義を通して地域のまちなみ保全の課題に対する意識の向上、カーブミラーをオレンジ色から町並みに合う茶色へ変更するための取り組み、現存するまちなみの景観を維持するために建物の所有者に協力を要請、日野の貴重な文化遺産に焦点を置いた文化的な行事を開催、地域の保全活動に成功している事例を勉強するために歴史的地区への研修旅行、日野の景観を良くするために日野観光協会との協力、歴史的な家屋を維持するために会員間での保全に関する情報交換などです。

日野まちなみ保全会についての詳しい情報は、下記へお問い合わせください。

みなさまのご参加をお待ちしています。

Eメール: hino_machinami-1@hotmail.co.jp

郵便: 〒529-1601 蒲生郡日野町大字松尾字街道1501番地

る湖北古民家再生ネットワークの活動などのスライドを交えて丁寧に解説いただきました。

本当に貴重な湖北の古民家を、未来における地域資産として残していくために、建築士として出来る事からやっていたいかなければいけないと、感じさせられた講習会でした。



湖西滋賀支部

金沢兼六園、越前丸岡城への旅

10月15日(土)に、見学研修の日帰りバス旅行をしました。年々会員数が減少して、現在総勢36人です。

ちょうど結婚シーズンや他の団体の行事と重なったりで、会員、家族会員も含めて参加者30人でした。

兼六坂近くでそのまま昼食。その後ゆったりと園内を自由に散策しました。根上松や唐崎松の立派な佇まいにびっくり仰天。写真でなじみ深い徹軒灯籠、重文の時雨亭等々思わず時間の過ぎるのを忘れます。さすが日本三大庭園の名にふさわしい、雄大な回遊式庭園を堪能しました。

そのあとは、鬼作左の本多作左衛門が、陣中から妻に書き送ったという「一筆啓上、火の用心、お仙泣かすな、馬肥せ」の話や、全国でも稀な、屋根が全て石瓦で葺かれていることでも有名な、越前丸岡城を見学。古調に富んだ望楼式天守閣は、まさしく城郭建築の初期のものであることがうかがえます。階段というよりは梯子に近い階段を上りました。天守閣よりの眺望はさすがでした。

往復400キロ余の車窓からは、少し早目の紅葉を愛で、美人で案内上手なバスガイドさんの話に、終始飽きる暇もなく、本当に楽しい一日を過ごしました。(T, N)



湖北支部

第1回講習会「湖北の古民家の現状と活用」を開催

湖北支部では、去る10月1日(土)長浜勤労者総合福祉センター臨湖2階研修室に於きまして、「湖北の古民家の現状と活用」と題して、滋賀県立大学人間文化学部地域文化学科教授 濱崎一志先生をお招きし、講習会を開催いたしました。

湖北に数多く残る独自様式を持つ古民家などの現状を解説いただき、建築に関わるものとして、これらの地域資産と呼べるべきものをどのように保存活用していくべきか、地域に根ざした建築士としてできることは何か、などを実際の保存活用を行っている

11月の暦

1	火	先負		12	土	友引		22	火	赤口	
2	水	仏滅		13	日	先負		23	水	先勝	勤労感謝の日
3	木	大安	文化の日	14	月	仏滅		24	木	友引	
4	金	赤口		15	火	大安		25	金	大安	
5	土	先勝		16	水	赤口		26	土	赤口	
6	日	友引	家族親睦事業	17	木	先勝	滋賀県応急危険度判定士講習会 (大津会場)	27	日	先勝	
7	月	先負		18	金	友引		28	月	友引	平成23年度第4期定期講習受付開始(12/22まで)
8	火	仏滅		19	土	先負		29	火	先負	
9	水	大安		20	日	仏滅		30	水	仏滅	
10	木	赤口		21	月	大安					
11	金	先勝	あーき塾2011								

あきんど号ラリー参戦記

アジアンラリー「楽しい仲間たち」

アジアンラリーの、多くのエントラントは現地のワークスチーム（トヨタ・三菱・いすゞ等）に、プロドライバーでの参戦だが、四駆ショップのオーナーであったり、その仲間のチームも多い。元F1パイロット片山右京選手の他にもモータースポーツで活躍する選手が参戦している。2007年から5年連続出場している青木拓磨選手だ。彼は、全日本スーパーバイク1995、96年の2年連続優勝しているGPライダーだ。世界チャンピオンも期待された1998年、シーズン前のテスト走行中の事故で脊髄を損傷しモータースポーツから10年間遠ざかっていた。『下半身が麻痺していてもラリーに参戦する事で、多くのハンディキャップのある人たちに勇気を与えられたら…』と四輪のレースに転向。彼のマシンは手だけでアクセル・ブレーキをコントロールする事ができる特別仕様のラリーカーだが、参加する限りは優勝が目標だ。2011年はボディをFRPで作り軽量化し、初日から果敢に攻める。しかし最終日、ゴール直前で転倒。前半の素晴らしい走りが貯金となり総合3位という輝かしい成績で完走した。

他にもユニークなエントラントがたくさんいる。茨城県から参加した夫婦は新婚旅行を兼ねての参戦であった。普段から四駆車を通勤に使っていて、二人で楽しみながらも見事に完走を果たした。次に、婚前チームで参加した外科医と看護師。「完走が出来れば結婚をしよう!」と約束しての参戦であったらしい。我々は、「そんな約束は取り消せ!」と勧めたのであるが…。結果は無事完走し、その後めでたく結婚。翌年は奥様が産前休暇、翌々年は育

児休暇のため旦那のみの参戦が続いた。夫婦での復活を期待したい。チーム埼玉日産は、埼玉県内の女性をオーディションで選びマシン・メカニック・参加費用をすべてお膳立てしての参戦だ。2年連続参戦し、3年目はその内の二人が、自分たちだけで出場を希望し参戦。彼女たちは、その後もパートナーを変えながら参戦している。我々がよく言う事だが、ラリーには魔物が潜んでいて、一度参加すると取り憑かれてしまうのだ。チームトライアングルは、毎年、全国7ブロックで行われるトライアル競技で、3人がチームを組み、各ブロック3戦行う。その各ブロックで勝ち残った7チームで戦う「ジャパンファイナル」のチャンピオンがアジアンラリーに招待されているのである。彼らは本来ハイスピード系のレースが専門ではないが、クロスカントリー走行においては最高の技術を身につけているため、毎年アジアンラリーで他チームのラリーカーをレスキューしながらも、完走している。そして毎年、その行動を称えられ特別賞を受賞している。彼らは他のエントラントの強い味方であり、我々もレース中、何度か彼らに助けられた。

余談ではあるが、我々が初めて参戦したオーストラリアンサファリのチームスタッフは、それがきっかけで二人がオーストラリアに永住し、もう一人はイギリスに駐在するなど、彼らの人生を大きく変えてしまったのかもしれない。今なおみんなとは繋がりを持ち続け、他にも各国に友達ができるなど、ラリーレイドは不思議な魅力をもっている。

(湖東支部 辻本隆志)



2007年アジアンラリー初参戦の青木拓磨選手と



2011年優勝をねらう青木選手のFRPボディのマシン



ゴール直前大クラッシュ、しかし総合3位!

おうみ賢人 新町通り

西側に西川庄六邸、森五郎兵衛邸、東側に西川利右衛門邸などがあり、新町通りの町並み景観のもっとも重要な通りになっている。

八幡商人は、近江商人の中でも最も早い時期に活動し、江戸出店も最も早く、特に西川甚五郎、西川庄六、伴伝兵衛、森五郎兵衛等の八幡商人が活躍した。新町界限には、八幡商人屋敷がまともまよってよく残っており、景観だけではなく、史跡としても重要な通りになっている。

